



いたものが、3時間のビデオで代用になったのです。

普通に考えると、時間的にも、肉体的にも楽になった…と思われがちですが、これが逆なのです。実際の講義では、受講される方もいて、反応を見たり、質問を受けたり、デモンストレーションをしたりするのであつという間に3時間たつてしまいます。

しかし、ビデオ作りは…孤独です。狭い部屋で録画の操作をしながら、電話が鳴ったら止め、救急車が走ったら止め、なんてことをしながら半日がかりで作ります。終わった後の疲労感、ビデオ作りの方が圧倒的に大きいです。

いろんな教育機関で講義がビデオ化されているものもあります。ただ、

話す方も、聴く方も、リアルの方がいいんじゃないかなあと思いました。やっぱり生は良いですよ。

口腔乾燥とお薬

お口が乾燥する（口腔乾燥、ドライマウス）といろいろな弊害が出てきます。一例ですが、むし歯が進行、歯周病の重度化、入れ歯を入れていく方は痛みが出てくる、入れ歯が落ちてくる、口臭、味覚低下などなど。ですから、お口が乾くというのは大問題なのです。

もちろん、私たち歯科としても、このような影響が出てくるので注目しています。中でも薬による影響が大きいと言われています。例えば一部風邪薬のようなものでもお口の乾

燥につながるものがあります。ですから、歯科だけの立場で言えば、薬はやめてほしいと思うのですが、もちろんそういう訳にはいきません。その方の病状に合わせて処方されているものですから。

このような時、本来は歯科と薬剤師さんが強く連携できていればいいのですが、なかなかそういった連携ができていません。理由は単純で、歯科は院内処方（その場でお薬を渡す）が多く、地域の薬局とのつながりが少ないからです。私は頼れる薬剤師が何人か友人にいたので、薬でわからないことがあればすぐに連絡できるのでありがたいです。

薬によって大きな恩恵を受けることは確かですが、副作用もあります。便利で有益なものだからこそ使い方を考えていきたいですね。